

テーマ：世代間交流 対象：地域住民（小学校5年生～高校3年生，成人） 主催：福山市服部交流館

# 1-(3)はっとり GENKIプロジェクト “Smile Time”

地域を学ぶ		地域でつながる	○	地域に還す	○
-------	--	---------	---	-------	---

## 1 学習プログラムの展開（令和3年度）

日程	場所	学習・活動内容
令和3年 7月15日（木）	服部公民館	○第1回 今年度の活動で行いたいことを付箋紙に書き出し，メンバーで意見交流し，出店内容や役割分担等を決定した。
8月3日（火）		○第2回 地域にあるパン教室の先生に講師を依頼し，メンバーがパンのつくり方を学んだ。
10月14日（木）		○第3回 出店内容詳細の決定やポスター等の作成，落成記念行事の司会打合わせ等を行った。
10月16日（土）		○第4回 アンガールズとメンバーと一緒に活動用の看板を作成した。
11月19日（金）		○第5回 カフェはっ通りのメニュー表・ポップ等の作成や落成記念行事の司会練習をした。
12月4日（土） 12月5日（日）	服部交流館	○落成記念行事 服部交流館落成記念行事の司会進行やカフェはっ通りを出店した。
12月29日（水）		○リクエスト企画 地域住民の要望に応じて，カフェはっ通りを開催した。
令和4年 2月24日（木）		○ミーティング 3月21日（月・祝）に実施する「おいでカフェ」の準備をした。
3月21日（月・祝）		○おいでカフェ イベント参加者の子どもたちと一緒に「おいでカフェ」の旗を作成した。



対象	地域住民（小学校5年生～高校3年生，成人）
経費	広島県公民館連合会助成金 等 駅家北学区服部まちづくり推進委員会事業費
連携先	駅家北学区服部まちづくり推進委員会（24 団体加盟）

問合せ先	福山市服部交流館 〒720-2524 福山市駅家町助元 70 電話：084-978-0810
------	------------------------------------------------------

## 2 講座設定の理由（学習の目的）

- 新たにできる服部交流館を地域で楽しく交流できる場にするため、多世代で関わり合いながら落成記念行事に向けて準備等を進め、地域の交流を深めていく。
- “Smile Time”というグループ名の由来のとおり、地域住民同士で笑顔になれる時間を共有することができるように、子どもたち自身で企画・運営することを通して、協調性や自主性を育む。また、活動を通して、達成感を味わったり、多世代の人と交流したりすることで、まちづくりの面白さや地域の新たな魅力に気づかせる。

## 3 学習目標

- 公民館活動や地域活動への関心をより高め、子どもたち及び地域住民の公民館への親近感を醸成する。
- はっとり GENKI プロジェクト“Smile Time”の活動を通して、メンバーとして参加した子どもたちの自主性や協調性を育む。
- 多世代間で交流することを通して、相互の価値観を認め合える環境づくりを行い、子どもたちの人間関係形成能力の育成を図る。

## 4 事前に必要な知識や準備物

- パンのレシピと作り方
- ポスターや配布チラシの作成
- 売り物の値段表やポップの作成
- 活動用看板
- 落成記念行事の司会原稿

## 5 留意点

- 話し合いの際に参加者が意見を出しやすい雰囲気づくりを行うなど、参加者同士が主体的に意見交流できるようにした。
- 参加者が時間を有効活用できるように、役割の配分を考慮した。

## 6 成果

- 子どもたちが「はっとり GENKI プロジェクト“Smile Time”」の取組に意欲的に参加することで、達成感を得ることができた。
- 子どもたちが地域行事に参加することにより、多世代間での交流を行うことができた。
- 子どもたちの活動を地域の方に喜んでもらうことができた。

## 7 課題

- 子どもたちと地域ボランティアとの関係づくりを行う必要がある。
- 子どもたちの中に、取組に対する温度差があり、公民館職員等のおとながどのように対応していくのかを検討する必要がある。

## 8 今後に向けて

- 地域のおとなとの交流が自然なかたちで生まれるように、地域にある各団体とのコラボイベントを企画したい。
- 子どもたちが自分たちで作り上げたという達成感や活動する中での楽しさをもっと味わえるように、それぞれの個性や得意を生かせる場づくりを工夫する必要がある。